



品川女子学院 図書室発行  
208号 2021/10月号



今年度も、もう半分が過ぎましたね。少しずつ秋らしい様子になってきました。

## 10月からの図書室について



図書室は、放課後も自由に使えるようになりました。

閲覧室の座席数：16席

貸出冊数：無制限

開室時間：平日は8:00-17:50 土曜は8:00-16:00

引き続き図書室サイト (st1 ログイン) で図書のリクエストや予約を行っています。

電子図書館も利用できます。少しずつ電子書籍も増えています。



## 雑誌譲渡のお知らせ

毎年、文化祭の古本市では保存期間の過ぎた雑誌も出していましたが、今年度も古本市がありませんでした。そこで雑誌譲渡期間を設け、希望するみなさんにお譲りします。

日時 10月7日(木)～10月15日(金) 図書室開室時間中

- 注意点
- ・1人1日5冊まで(6冊以上欲しい方は他の日もお越しください)
  - ・付録なし。無料。
  - ・今回対象となる雑誌は2019年発行のものとなります

## 広報班(図書委員会)より本の紹介

☆『図書館戦争』有川浩：著/KADOKAWA

No Image

私がおすすめる本は、有川浩さんが書いた『図書館戦争』という本です。

2019年。公序良俗を乱す表現を取り締まる「メディア良化法」が成立して30年。高校時代に出会った図書隊員を名乗る“王子様”の姿を追い求め、行き過ぎた検閲から本を守るための組織・図書隊に入隊した、主人公笠原郁。不器用ながらも、愚直に頑張るその情熱が認められ、エリート部隊・図書特殊部隊に配属されることになったが、そこで彼女を待ち受けていたのは！？

私はこの本を読んで、仲間がいることの心強さや努力することの大切さを感じました。ぜひ読んでみてください。

2年 Nさん

☆『神様の願いごと』沖田円：著/スターツ出版

No Image



日本では、10月のことを神無月(出雲では神在月)と呼ぶことがあります。なので、今月は「神様」についてのお話を紹介したいと思います！

～あらすじ～

夢もなく将来への希望もない高2の少女、七槻千世。ある日の学校の帰り、雨宿りのため神社に足を踏み入れた。その神社で「人の夢を見守る神様」に出会う。その神様は常葉と名乗った。そして千世は、参拝に来た人々の夢を叶えるのを手伝うというバイトを始めることに。

夢を見守る神様と夢を持ってない少女。そんな2人が同じ時間を過ごすことで見える景色が変わっていく。

～感想～

私自身ろくな夢がなくてもなんとなく日常を過ごせればいいと思っていましたが、そんな大それたものでもなくても漠然とこうなりたい、今より良くなりたいと思うだけで「夢」と言っているのかなと思うことができました。

叶った夢、叶わなかった夢。夢に対してはひとりひとり違う思いを持っていると思います。けれど、大事な誰かのために何かしたいという思いを大切にしようと思えるお話だと思います。夢を見ている人、追いかけている人、諦めてしまった人、まだ見つけられていない人。どんな人にも優しく寄り添ってくれるような作品です。ぜひ読んでみてください！

2年 Hさん

☆『小太郎の左腕』和田竜：著/小学館

No Image



こんにちは！

およそ500年前の10月、「伊豆討ち入り」という出来事が起こりました。

この出来事は戦国時代の幕開けとも呼ばれています。

そこで今回は、戦国時代が舞台の小説、和田竜さんの『小太郎の左腕』を紹介したいと思います。

この本の舞台は1556年の日本。

西に勢力を拡大する戸沢家の「功名漁り」とよばれる武将、林半右衛門は民衆からの人気も高く、武勇にも優れています。

そんな半右衛門がとある村の鉄砲大会で、ある少年と出会います。

その少年との出会いが、のちに戸沢家や半右衛門の運命が思わぬ方向へと転じていきます。

和田竜さんの作品はこの本も含めて、戦国時代を舞台にしています。

ぜひ、この作品以外の本も読んでみてください。

2年 Tさん